

まちなかキャンパスうえだ講座2020

今から始める「デジタル旅れぽ」②

「旅れぽ」のつづり方

2020年2月8日

前川道博

長野大学企業情報学部教授

「デジタル旅れぽ」講座2020

<http://mmdb.net/tabi2020/>



元祖「旅れぽ」



W杯2002体験記



「旅れぽ」実例紹介 & ポイント

同じことを伝えるのでも、ちょっと表現を変えるだけで伝わる効果は大違い。体験をどのように伝えたいかをイメージしてみましょう。撮る時から表現は始まっています。伝え方をイメージしながら真を撮ると表現の幅がぐっと広がります。言葉での表現も楽しみましょう！



「旅れぽ」(緒方水那) から

●旅の感動を

旅の感動が豊かさの源です。

●記録して

スマホやデジカメでたくさん撮りましょう。

●伝える

旅の感動や旅先での発見を思う存分に伝えましょう。

「旅れぽ」 by 緒方水那（解説：前川道博）

<http://www.mmdb.net/kanko/onsen/tabirepo/>

■概要

パンフレットの載せ替えのような観光情報サイトに満足できない緒方水那さんが、旅する人の視点で旅先の情報を伝えると、旅する人が本当に欲しい情報を得られるサイトになるという仮説の下、初めて手がけた旅れぽサイトが「宿さがし」です。

これをさらに発展させ、多くの旅行者が誰でも制作に参加できる観光情報サイトの構想が「旅れぽ」の提案となりました。

単に旅しておしまいで、あまりにもったいない話です。誰にとっても旅の思い出は大切です。ですから旅先では写真を撮り、それをアルバムに貼って一生の宝物にします。Webを使うと、それを際限なく生涯かけて、自分の旅のアルバム（旅のポートフォリオ）作りを楽しむことができるようになります。

旅を楽しみ、旅した後で自分の旅の思い出作り（旅れぽ）作成）を楽しみ、それをネット上に公開し、多くの人たちに旅の情報を提供して役立ててもらうことで、それがまた自分の楽しみとなり、旅人の立場に立った楽しい観光情報提供が参加型でできるようになります。

「旅れぽ」の制作は、自分の生き方を豊かにすることにも役立ちます。楽しみを表現に変え、自己表現を豊かなものにすることができます。表現するといろいろなものが見えてくるようになります。見聞したものを知識に変えたり、いろいろなことの理解を深めるきっかけとなったりします。「好きこそものの上手」と言いますが、「旅」は、学習の楽しさを味わうことのできる最良のテーマの一つです。

緒方水那さんが始めた「旅れぽ」は多くの人に「旅れぽ」の楽しさを伝え、既にいくつもの旅れぽサイトがネット上に出現してきました。

誰にとっても大切な旅の思い出は、旅をスマホやデジカメやビデオカメラで撮って記録することで形あるものとして永遠に残していくことができます。そうすることで、旅れぽは、皆が共有できる情報となり、社会全体を豊かものへと変える力すら持っています。

■カテゴリの構成

「カテゴリ」フォルダは旅ごとに分ける構成です。「イベント」「お店」などの横断的項目はその外側に括り出しています。

- 銀山温泉 能登屋旅館の旅
- 東根温泉 花の湯ホテル 桃の旅
- (日帰り) さくらんぼ狩りの旅
- (日帰り) お釜&蔵王温泉の旅
- イベント
- 美味しいお店

「地域」フォルダは対象地域を村山地域（やまがた地域）にあらかじめ絞り、市町単位で次のように分けています。

- 山形市
- 天童市
- 寒河江市
- 大江町
- 東根市
- 尾花沢市
- 大石田町

広果園で桃狩り！

分鏡 藤原道敷 花の湯ホテル 後の宮 地橋 豊原市
(収録日 2000/09/07 撮影日 2001/12/15)



日付 2000/09/07 広果園にて

広果園で桃狩り！山形空港の西側にある広果園で桃狩りに行って来ました！桃が木にたくさんあって、見ただけでわくわくしちゃいました♪桃は結構大きいので、そう何個も食べられませんけど（平均2・3個だとか）、広果園の桃狩りには制限時間がないので、時間をかければOKかな？入園料は600円ですから、5個は食べたいかも！

『旅れぼ』広果園

映像クリップ

(4件)

#01 広果園	#02 桃狩り	#03 桃狩り	#04 桃狩り
#05 桃狩り	#06 桃狩り	#07 桃狩り	#08 桃狩り
#09 桃狩り	#10 桃狩り	#11 桃狩り	#12 桃狩り

山形県東根市羽入 1847（山形空港の西側）にある広果園に桃狩りに行ってきました！桃が木にたくさんあって、見ただけでわくわくしちゃいました♪桃は結構大きいので、そう何個も食べられませんけど（平均2・3個だとか）、広果園の桃狩りには制限時間がないので、時間をかければOKかな？入園料は600円ですから、5個は食べたいかも！

「うーん、行ってみたい」という気持ちにさせてしまう表現の魅力は何？

旅れぼのご本人が登場してメッセージを皆さんに伝えているからです。

相棒がいないとこういう「旅れぼ」は絶対にできません。自分で自分は撮れません！

一寸亭支店のつめたい鳥そば

分鏡 藤原道敷 花の湯ホテル 後の宮 地橋 豊原市
(収録日 2000/09/07 撮影日 2001/12/15)



日付 2000/09/07 広果園にて

お昼は一寸亭支店の『つめたい鳥そば』をいただきました。広果園から近いので出前をとってもらったんです。これが鶏肉は固いのですが、そのだしが溶け込んだスープの美味しいこと！あー！食べたい！

そして、ここのお父さん・お母さんはとっても楽しい方なんです。桃狩りだけでなくトークも絶対楽しめますよ♪

『旅れぼ』一寸亭支店

映像クリップ

(4件)

#01 冷たい鳥そば	#02 ありあり盛り	#03 お母さん	#04 そして、お父さん
------------	------------	----------	--------------

お昼は一寸亭支店の『つめたい鳥そば』をいただきました。広果園から近いので出前をとってもらったんです。これが鶏肉は固いのですが、そのだしが溶け込んだスープの美味しいこと！あー！食べたい！

そして、ここのお父さん・お母さんはとっても楽しい方なんです。桃狩りだけでなくトークも絶対楽しめますよ♪

「うーん、おいしそう！」

お母さん、お父さんの表情も魅力的です。

ご同意いただいて、人の表情が伝えられるとそれだけで表現力は何倍もアップします。

またまた桃狩り

分鏡 藤原道敷 花の湯ホテル 後の宮 地橋 豊原市
(収録日 2000/09/07 撮影日 2001/12/15)



日付 2000/09/07 広果園にて

まだ桃食べます！お蕎麦でお腹いっぱいでも食べます！！（笑）黄金桃は川中島よりも酸味があるんですけど、これはこれで美味しいんです！納得いくまで桃を食べましょうね！

『旅れぼ』広果園

映像クリップ

(5件)

#01 テーザート桃?	#02 黄金桃だっ!	#03 ほらこんなに黄色い!	#04 まあやけ用桃!
#05 おみやげ用桃2			

まだ桃食べます！お蕎麦でお腹いっぱいでも食べます！！（笑）黄金桃は川中島よりも酸味があるんですけど、これはこれで美味しいんです！納得いくまで桃を食べましょうね！

クリップのストーリー性にご注目！

単なるクリップの羅列ではなく、そこにストーリーが出来ています。お見事！

花の湯ホテル

分県: 県庁温泉 花の湯ホテル 湯の郷 湯郷市
 (登録日: 2000/09/07 更新日: 2001/12/15)



日付: 2000/09/07 花の湯ホテルにて

山形県東根市温泉町一丁目7番12号(東根温泉街入り口すぐ)にある花の湯ホテルに泊まりました。大浴場・露天風呂・貸切桜風呂(丸&四角)があり、全部に入った私はお肌がテロンテロンに光ってましたよ！

『旅まがし』 県庁温泉街 『旅まがし』 花の湯ホテル

映像クリップ

(8件)



山形県東根市温泉町一丁目 7 番 12 号 (東根温泉街入り口 すぐ)にある花の湯ホテルに泊まりました。大浴場・露天風呂・貸切桜風呂 (丸&四角) があり、全部に入った私はお肌がテロンテロンに光ってましたよ！

旅行者の視点から旅館を紹介しています。パンフレットの紹介と何が違うかわかりますか？

宿などの紹介、特に内部の様子は了解を得てからにしましょう。

旅館のご協力を得て、ここまで紹介してしまうこともまた「旅れば」の醍醐味です。

豪華お夕飯！

分県: 県庁温泉 花の湯ホテル 湯の郷 湯郷市
 (登録日: 2000/09/07 更新日: 2001/12/15)



日付: 2000/09/07 花の湯ホテルにて

もう食べきれないっ！ってくらいの量ですね！でも、お蕎麦とか芋煮とか、山形ならではのものが嬉しいですよ！

『旅まがし』 花の湯ホテル

映像クリップ

(10件)



もう食べきれないっ！ってくらいの量ですね！でも、お蕎麦とか芋煮とか、山形ならではのものが嬉しいですよ！

食事の内容をそっくり見せてしまうのもお見事！

旅館の協力が得られればこそです。勝手にそれをするとは問題が起きるかもしれません。ご注意を！

旅する人が本当に知りたいことは、旅館の様子やサービスの内容など質的な側面。狙いどおりそれを伝えています。

勘鳥居で納豆味噌ラーメン！？

分県: 県庁温泉 花の湯ホテル 湯の郷 湯郷市
 (登録日: 2000/09/08 更新日: 2001/12/15)



日付: 2000/09/08 勘鳥居にて

本で見つけたラーメン屋さん『勘鳥居』。納豆味噌ラーメン目当てで行きました！え〜って言う人が多いんですけど、私は写真を見て美味しいそうだったんですよ。食べてみたら激うまでしたよ！納豆と半熟卵でこくを増し、いつまでもアツアツのスープ…。でも、かいわれ大根でさっぱりしちゃうんです！ここでしか味わえないラーメン！いかがですか？

『旅まがし』 勘鳥居

映像クリップ

(5件)



本で見つけたラーメン屋さん『勘鳥居』。納豆味噌ラーメン目当てで行きました！え〜って言う人が多いんですけど、私は写真を見て美味しいそうだったんですよ。食べてみたら激うまでしたよ！納豆と半熟卵でこくを増し、いつまでもアツアツのスープ…。でも、かいわれ大根でさっぱりしちゃうんです！ここでしか味わえないラーメン！いかがですか？

美味しいお店は伝えたいものです。

紹介されるお店の立場でもハッピーです。

まずかったお店は？

紹介しない方がよいでしょう。

らーめん三昧『勘鳥居』

〒201-0606 東京都東根市神町東1-18-10 電話 03-3462-2277



【主なメニュー】
 納豆味噌ラーメン：700円
 納豆辛味ラーメン：700円
 チャーシューラーメン：800円

【営業時間】
 11:00～14:00 / 17:00～22:00

【定休日】
 火曜日

【特徴】
 スープは豚骨がベースですが白湯ではなく、あくまでも透き通った綺麗な琥珀色のスープを作りに手間をかけているそうですよ♪

映像クリップ

1. 店舗の外観

2. 店舗のメニュー

3. 店舗の厨房

4. 店舗の接客

5. 店舗の接客

6. 店舗の接客

7. 店舗の接客

8. 店舗の接客

9. 店舗の接客

10. 店舗の接客

11. 店舗の接客

12. 店舗の接客

13. 店舗の接客

14. 店舗の接客

15. 店舗の接客

16. 店舗の接客

17. 店舗の接客

18. 店舗の接客

19. 店舗の接客

20. 店舗の接客

勘鳥居は東根市神町東 1-18-10 にあるラーメン屋さんです！勘鳥居の一番人気は「納豆味噌ラーメン」！！力強い太めの縮れ麺…。納豆と半熟卵でこくを増し、いつまでもアツアツのスープ…。かわいれ大根でさっぱりといただけます♪ 人気があるのもうなずける一品でした！

＜主なメニュー＞納豆味噌ラーメン：700円 納豆辛味ラーメン：700円 チャーシューラーメン：800円

＜営業＞11：00～14：00 と 17：00～22：00

＜定休日＞火曜

スープは豚骨がベースですが白湯ではなく、あくまでも透き通った綺麗な琥珀色のスープを作りに手間をかけているそうですよ♪

美味しいお店の情報をどう伝えるかです。

お店、メニュー、お店の人、食事そのもの、美味しく食べる様子。

情報が事足りています。



上のページには実はカラクリが…。

映像クリップをクリックしていくと、ラーメンが大きく、さらに大きく。

実に美味しそうに伝わります。「食べた～い」という気持ちになるまでいざないます！

手打ちそば『やまぶき』

〒201-0606 東京都東根市荒谷1-13-1 電話 03-3462-2277



【主なメニュー】
 せいろ：600円
 板そば（二人前）：1100円
 鴨なんばん：950円

【営業時間】
 11:00～15:00 / 17:00～19:00

【特徴】
 そばをはして持ち上げたポーズ！
 こういう構図の決め方もポイントです。

映像クリップ

1. 店舗の外観

2. 店舗のメニュー

3. 店舗の接客

4. 店舗の接客

5. 店舗の接客

6. 店舗の接客

7. 店舗の接客

8. 店舗の接客

9. 店舗の接客

10. 店舗の接客

11. 店舗の接客

12. 店舗の接客

13. 店舗の接客

14. 店舗の接客

15. 店舗の接客

16. 店舗の接客

17. 店舗の接客

18. 店舗の接客

19. 店舗の接客

20. 店舗の接客

やまぶきは天童市荒谷 1973-1361 にあるお蕎麦屋さんで、市内から山寺へ向かう途中にあります！お店の方をみてわかるように、とても温かい雰囲気のお蕎麦屋さんです♪入ってすぐに所に囲炉裏もあるし♪いつも板そば（二人前）を注文します♪

＜主なメニュー＞せいろ：600円 板そば（二人前）：1100円 鴨なんばん：950円

＜営業＞11：00～15：00 と 17：00～19：00

そばをはして持ち上げたポーズ！
 こういう構図の決め方もポイントです。

お釜

分標 (日帰り) 近畿の温泉の景 地域 山形県
 (登録日: 2001/07/30 更新日: 2001/12/15)



日付: 2001/07/30 お釜にて

これはお釜です！晴れの日なんてすごいですよ♪湖面がいろんな色に光るんです。それが見れなくて残念でした！でも、雨に降られて慌ててリフトで降りたその先で、野うさぎに遭遇できたのはラッキー♪最初犬かと思ったんですけどね。

映像クリップ

(9枚)



これがお釜です！晴れの日なんてすごいですよ♪湖面がいろんな色に光るんです。それが見れなくて残念でした！でも、雨に降られて慌ててリフトで降りたその先で、野うさぎに遭遇できたのはラッキー♪最初犬かと思ったんですけどね。

日帰り旅行でも、しっかり「旅れぽ」にできます。

「お釜」だけでなく、急に雨が降って、リフトに乗って降りて…、とそのプロセスも伝えています。

観光スポットの画像だけではなかなか魅力的な「旅れぽ」にはなりにくいものです。

蔵王の大露天風呂

分標 (日帰り) 近畿の温泉の景 地域 山形県
 (登録日: 2001/07/30 更新日: 2001/12/15)



日付: 2001/07/30 蔵王大露天風呂にて

蔵王温泉街にある大露天風呂！ここは大のお気に入りです♪緑の中にあつて、雰囲気がとてもいいんです♪のぼせてきたら石の上に座って休んで、たまにお湯を体にかけてたりしてのんびり過ごせますよ♪

『旅れぽ』蔵王温泉街 『旅れぽ』蔵王大露天風呂

映像クリップ

(10枚)



蔵王温泉街にある大露天風呂！ここは大のお気に入りです♪緑の中にあつて、雰囲気がとてもいいんです♪のぼせてきたら石の上に座って休んで、たまにお湯を体にかけてたりしてのんびり過ごせますよ♪

温泉の中でシャッターを切るのは勇気がいらします！

これをしないと温泉の情報が伝えられないジャンルに皆さん陥ります。どうしますか？

玉こん！

分標 (日帰り) 近畿の温泉の景 地域 山形県
 (登録日: 2001/07/30 更新日: 2001/12/15)



日付: 2001/07/30 蔵王温泉街にて

山形の観光地って、玉こんがないところはないって感じですよ。見てください！この味のしみた玉こん！そしてキリンレモンで湯あがりシワシワです！

『旅れぽ』蔵王温泉街

映像クリップ

(4枚)



山形の観光地って、玉こんがないところはないって感じですよ。見てください！この味のしみた玉こん！そしてキリンレモンで湯あがりシワシワです！

スナップ的にさりげなく！

旅の感じが自然に伝わってきます。

言葉の表現もちょっと工夫することで、さらに魅力的に仕上がっています。

旅れぼ「W杯 2002 体験記」 by 前川道博

<http://www.mmdb.net/mmapping/wcup/>

■ 概要

2002年最大のイベント、FIFA ワールドカップ Korea/Japan」の体験をつづった長大な「旅れぼ」です。「旅れぼ」は、皆さんには「My 旅れぼ」を一つのサイトにして生涯かけて末長く作ることをおすすめしています。このサイトは、このW杯の体験記だけで膨大なものになることが想定されたので、「W杯2002」だけで一括りのサイトにしました。

■ ねらい

見聞したこと、感じたこと、考えたこと、発見した面白いもの、体験したことなど、「つれづれなるままに」。常識的な分量を遙かに超えています。数百の画像クリップ。

人に見てもらおうというよりは、自分の体験を丸ごと記録に残してみよう、という可能性への挑戦です。日本中、世界中を熱狂させたW杯の関心の高さ、広がり割に、個人が発するW杯情報があまりに少ないのはおかしい。個人がそれぞれの「自分のW杯」を表現しようとしたら、果たしてどのようなものになるのだろうか。インターネットが普及した時代、もっと一人一人がそれぞれの情報を豊かに表現してよいのではないかと、といった問題意識から創作意欲が湧いてきたというのがそもそもの動機です。

ある意味、実験的な試みかもしれません。おそらくそこから、マスコミを通して伝えられたW杯とは全く違う、個人体験・個人的な認識対象としてのW杯像が伝えられるのではないかと考えています。

見る側からすれば情報が多すぎるのでは？と思われるかもしれません。しかし、Web サイト（ホームページ）はいくらでも載せたいだけの情報を載せることができます。これが紙媒体の「写真アルバム」や「書籍」などと違う点です。載せたい情報は、人それぞれにたくさんあるはずで。

あなたはどのように判断なさいますか。

■ フォルダの構成

訪れる旅先ごとに「カテゴリ」を括る構成です。

- チケット入手と旅のプラン（未完成）
- 仙台とアズーリ（未完成）
- 新潟へ行く（未完成）
- 宮城へ行く（未完成）
- ソウルへ行く
- ウルサンへ行く
- クァンジュへ行く
- 韓国4強の興奮
- 韓国は梅雨入り、日本へ戻る（未完成）

地域は大まかに次のように分けています。

- 山形県
- 新潟県（未入力）
- 福島県
- 宮城県（未入力）
- インチョン
- ソウル
- ウルサン
- プサン
- プサン～クァンジュ
- クァンジュ



■早朝に山形を出発



山形県庁でのW杯テレビ観戦禁止令。たいへん有名になりました。この話題は別のページで扱うことにしましょう。
朝早く、夜が明ける頃に、その話題の県庁前を通り、韓国へW杯観戦に出かけるため、福島空港へ向かいました。
2泊3日で、この週末、準々決勝2試合を観戦して回るという強行軍です。飛行機など乗り物の乗り継ぎ、現地情報のgetなど果たしてうまくいくのでしょうか。期待と不安の入り混じる出発です。

旅のスタートは旅への思いを語る最高のチャンスかも。

何気ない見慣れた風景も生きてくるかも。ともかく風景などを撮っておくと後で役立ちます。

■福島空港、そういえばアルゼンチン…



福島空港に着くと、アルゼンチン国旗がたなびいていました。アルゼンチン歓迎の看板も。そうでした。アルゼンチンのキャンプ地はJビレッジでしたね。最寄りの空港がここだったか、と再認識です。
優勝候補最有力と目されていたアルゼンチンのグループリーグ敗退。振り返ってみれば、フランスの敗退と共に大きな番狂わせの大会でした。

このW杯の旅では、「W杯」に関するものは何でも撮っています。

その画像から連想したこと、思ったことなどはためらわず何でも書きましよう。

■いよいよ韓国へ！



インチョン国際空港行き飛行機の中、何ともすでにW杯の気分を盛り上げてくれています。機内のモニターでずっとW杯の映像が流されています。
福島を発って約2時間、下界にインチョン市街が見えてきました。国際線がキンポ空港からインチョン空港に変わってからは初めての韓国です。島々が遠浅の干潟状の海に点在している様子が実によくわかりました。W杯に向け開港したインチョン周辺の風景がまず出迎えてくれました。

道中（機内）の様子など思い出して書いてみるだけでも旅の様子がよく伝えられます。

■インチョン空港・W杯歓迎ムード



飛行機からインチョン空港に降り立ちました。W杯共催国・韓国の表玄関です。ディスプレイ、広告、その他、W杯の環境作りもさすがです。力がこもっているという快い第一印象を受けました。W杯開催国にやってきたという思いを新たにします。

旅先の第一印象は大切です。まず目にしたものを撮りましょう。後からでも旅の感興がよみがえります。

■ソウル！ 素晴らしい環境美化



いよいよソウルへ入って来ました。遠くに延々と高層アパート群が見えます。そう言えば、1990年代、キンポ空港周辺の田畑・林野に建設中だった、あの頃のアパートです。
インチョン空港に国際線が移って、バスの通過路も変わりました。ハンガンを渡ると間もなく、ソウルワールドカップ競技場が見えました。これもちょっと感動です。道の花壇もきれいに整えられて、環境美化も素晴らしい！ 実にキメ細かく環境整備がされて、準備万端、W杯を迎えたというところでしょう。

バスの移動も旅の大切な体験記。見たこと、感じたこと、いろいろ書いておくと何十年経っても記憶が失せません！

■赤い垂れ幕「あっぱれ、太極戦士！」



ソウル市庁前周辺の風景。5年ぶりなので大変懐かしい思いです。また来ましたねえ。
先ほどから何度となく見てきた「SEOUL WELCOMES THE WORLD」の看板。ヨONSE大学の前だけでなく、何ヶ所にも出ていました。
その隣に赤い垂れ幕。ありましたねえ。あっぱれ、太極戦士！ 優勝に向かって突進しろ！！ このメッセージも凄い

赤い垂れ幕はインパクトがあります。印象的なものはズバッと大きく出しましょう。

外国語がわからなくても「何て書いてあるんだろう」などと表現できま

■ソウル市庁前、韓国サポータの聖地？



ソウル市庁前広場。やはりここを見ないと韓国へW杯を見に来た意味がありません。韓国サポータの聖地といたらいいのでしょうか。韓国戦のたび、この一帯を赤いサポータが埋め尽くすわけです。この日は韓国戦がなく、普通に道路を車が走っています。この日の翌日22日、私が観戦に行くスペイン×韓国戦の時にはここがサポータで埋め尽くされることでしょう。この広場周辺のビルに高く据えられた大型モニタにW杯の試合が映されるんですね。

旅のメインスポットは、しっかり一つのトピックで扱いたいものです。

■ソウルプラザホテル前の落書き板



そうですか。韓国が優勝ですか。ソウル市庁の真向かいにあるソウルプラザホテルの前に、ベニヤ板が立っています。落書き板です。誰もが思い思いのことを落書きできる、こういうのもいいものですね。「はたしわ にほんじん」という書き込みもなかなか面白い。韓国の人が日本語で書いたのでしょうか。『SA LOVES KOREA』。いいですねえ、これも。

偶然に発見した面白そうなものは画像に残して、紹介しましょう！
韓国優勝という予想はなかなかにご当地の熱狂を伝えていて面白い。

■ヒディングお面！



W杯グッズは数々あれど、とどめを指すのはこれでしょう。ヒディングお面。なかなか粋だと思いませんか？ コリアチームの快進撃と共に人気沸騰なのがヒディング監督なのだそうで、さすがに高德の人を敬う儒教国家・韓国の面目躍如というところ。こういうお面にすら、高德の人を称える韓国の精神文化が息づいています。

こういうインパクトのある風景はしっかり撮っておきましょう！
撮りそこなうと後で後悔します。

■やっぱりチョンジュビビンバ！



韓国へ来れば、やっぱりこれです！ 石焼きビビンバ。日本でももちろん食べることはできますが、本場の味にはかないません。石焼きビビンバの本場、チョンジュに行かなくても、本場の味がソウルで味わえるのがこの店です。ああ、何かやっとな韓国へ来たという満足感が増して来ました。ミョンドンの飲食店もまた数々ありますが、日本人旅行者に特に有名なのがこの店です。『地球の歩き方』。どうもこれが情報源になっていて、皆がここに立ち寄るみたいです。

旅先の食事も面白いネタです。
旅れぼのネタは、風景だけではありません。ありとあらゆるものがネタになります。

■ミョンドンホンモノ、街中の日本語



この和服を着たお姉さんのタスキ。もちろん顔が写るとまずいですから、顔はフレーム外です。お店も伏せておきます。「ミョンドン・ホンモノ・タウン」。これを見て、ホンモノ」と書かれていることに気づく日本人は多くないはず。5年ぶりにミョンドンにきて気づくこと。日本語が目立って増えてきました。店の案内など、ハングルと共に日本語で出ています。昔からちょっと変な日本語はあったのですが、これを見ると全く違和感のない、質の高い日本語です。日本人客も増えてきた、ということのあらわれでしょうか。

ソウルの街中になぜ「和服姿」なのでしょう。なぜかな？ と思ったものはシャッターチャンスです。
ただし、こういう場合、人の顔なので、そのプライバシー、肖像権には気をつけたいといけません。

■スポーツ紙とウルサン上空



飛行機に乗る前、キンポ空港でスポーツ新聞を買ったんですが、搭乗する時に新聞を乗客に無料配布していました。飛行機に乗れば新聞が get できるんですね。これは「スポーツソウル」です。言うまでもなく、4強を目指す韓国代表の話題ばかりです。これから見に行くのはドイツ・アメリカ戦ですが、あまり話題にはなっていないようでした。強豪スペインに韓国が勝つのだろうか、常識的にはあまりあり得ませんが、韓国代表の快進撃、国をあげての盛り上がりの中ですから、どうなるかわかりません。22日＝勝利の日、うーん、あり得ますね。

W杯の状況を伝えるネタとして、スポーツ新聞がけっこう役立つことに気づき、画像に収めておきました。
こうすることで、旅の臨場感のようなものが伝えやすくなります（言葉だけでは伝わらないものがありま

■ウルサンムンス蹴球競技場！



会場に着いて、競技場に歩いて向かうときが一番ワクワクする瞬間です。朝、福島を発って、ソウルにも立ち寄り、夜にはウルサンでW杯を見れるわけですから、言うことありません。W杯の祝祭的な雰囲気、会場に来ると早くも伝わってきます。

意外に難しい、感動の瞬間？

■世界一美しいウルサン競技場？



ウルサンムンス蹴球競技場に入りました。W杯の次期ドイツ大会の実行委員長をつとめるベッケンバウアーが、世界でも最も美しいサッカースタジアムと絶賛したと言います。どんな凄いスタジアムなのでしょう。

まだ時刻は19:30前。試合開始までまだ約1時間あります。競技や選手の様子など、フィールド内の様子は、FIFAのCopyright かも知れませんが、これ以降、載せるのはなるべく遠慮します。

場所や状況によっては撮った画像を出してはいけないことがあるので、そういうことにも注意しましょう。

■売店に弁当がない文化の国



日本と違ってのこと。そう、弁当というものが売られていません。何なのでしょう、これ。新潟でも宮城の会場内でも弁当はたくさん売られていましたし、当然、会場で弁当が買えるだろうとたかをくくっていました。腹の足しになるものがそもそも品薄、大半が売り切れです。キンバップ…売り切れ。他に何があるかという、ピーナッツ、ソーセージ、ポテチ、ドーナツ、…。まともに残っているのはソーセージだけでした。何か国の文化の違い、というのを感じました。

会場の様子からいろいろネタ探しをしています。ちょっと気づいたことが即ネタになります。

ネタとちょっと関連した画像があれば、結構、その挿し絵として使えます。

■おやおや、椅子を階段にする人々



おやおや、これは！ 椅子は階段ではないですよ！ 一人や二人ではない方が椅子づたいに自分の席へとやってきます。おまけに椅子の面に靴底の跡がペタペタ付いていきます。ベッケンバウアーが客席に死角がない素晴らしいスタジアムと絶賛したというウルサン競技場の一側面です。サッカーの本場、ヨーロッパのスタジアムではどうい状況なのでしょう。ここへ来てみれば、そうせざるを得ないというもので

撮影禁止は明示されていませんが、なるべく遠慮して、局所的な風景だけ撮っています。

こういうどうでもよいこともネタになります。

■ドイツ4強、感動の余韻



試合が始まったら、凄いいい！ ドイツのキーパー、カーンのファインセーブばかりが目立ちました。結局、アメリカの優勢ながら、1点を守ったドイツがベスト4進出を決めました。ホントにいい試合を見せていただきました。

アメリカは負けこそしましたが、これからの時代はアメリカのような、機能的に攻撃のできるチームが勝ちあがる時代になっていくのかな？と、新しいサッカーの時代の到来を予感させるような試合でもありました。ウルサンくんだりまで来た甲斐があったというものです。大満足！です。

試合終了後しばらくたった後の風景でも、試合の様子を伝えることはできます。

■プサン・バスターミナルに到着！



バスがプサン総合バスターミナルに着くやいなや乗客が一目散に地下鉄の駅目指して飛び出していました。

もの凄いスピードでバスが突っ走るのは韓国ではめずらしいことではありません。昔からこういう突っ走り方をしていました。日本ではちょっと考えられません。

ターミナル到着の時に、運転手が地下鉄の最終便の時刻を告げて、バス内で爆笑が起こりました。あと2、3分という際どい時間だったのです。

こういうショットは、その場で臨機応変に撮らないと撮り損ないます。

その状況を簡単に説明すると、どういう意味の映像なのかがわかります。

■赤いサポーター服いろいろ



周囲は赤い服を着た人ばかりです。当然ですね。9割方、真っ赤かでしょうか。よく見れば、Be the RedsのTシャツ、バリエーションがありますね。テググキがスカートにもなるし、ノースリーブのBe the Redsもあります。この日の試合は、スペイン対韓国。どちらの国のユニフォーム色も赤です。上の人服。奥の人のサポーター服はスペイン代表のユニフォームですが、後ろの人の服はBe the Redsです。

ついつい人の顔が写ってしまします！

個人の顔が勝手にネット上に出ると具合悪いので、扱いには注意しましょう

■戦勝に湧く車と人びと



クァンジュ競技場の外へ出てみれば、信じられないようなもの凄い光景が目飛び込んで来ました。道を行く車から人が体を乗り出したりしながら、テググキを振って韓国の勝利を喜んでいます。テハンミング・コールも凄いの、クラクションでも鳴らし続けています。それも次から次へと歓喜の車がやって来ます。ついさっきまで競技場で試合を見ていたわけですが、実はそこが狭い場所だったと実感です。

韓国人の熱狂ぶりにはビックリでした。

「ビックリした」と表現してもよいですが、左のように少し距離をおいた視点で再現するという表現もあります

■熱狂の中、進まないタクシー



いやあ、何とももの凄い状況に飲み込まれたものです。クァンジュの目抜き通り、クムナムノに入ってからタクシーが殆ど動かなくなりました。前方を見れば、歓喜の車の数々が路上で韓国勝利に湧き立っています。タクシーはそれでもちょっとずつは前に進んでいます。このタクシーのすぐ隣に荷台に何人も人を積んだトラックがやってきて、この人たちが私にVサインを送ってきたので、Vサインを返してあげました。

顔がなるべく写らない画像をチョイスしています。

写った顔は全部塗りつぶしました。

■クァンジュ市民の熱狂とゴミの山



タクシーを降りました。市民が韓国勝利に熱狂する様はタクシーの中から見えていましたが、大通りを歩いてみてさらにびっくりしたのはゴミの山です。それも半端な量ではありません。物凄い物量です。清掃車が繰り出しています。市民ボランティアでしょうか。市職員でしょうか。せっせとゴミを清掃車に運んでいます。途方もない量の多さで清掃はいつ終わるともできません。夜通しかもしれません。市民挙げての大応援だったのでしょう。

クァンジュのゴミの山を報道したのはおそらくこのサイトが初めて？

旅人の視点だから捉えられたのかも？

■全南道庁前、応援の熱狂は夢のあと…



スペイン×韓国戦の時には、チョッラナム道庁前には、物凄い数の市民が集まって街頭応援を繰り広げたようでした。道庁前に据えられた超大型の街頭モニター。カバーを掛けられています。ここに生中継された試合が映し出されて、市民が街頭応援したのでしょうか。22:44。もうこの時間になると、その余韻は消えて、人はかなり少なくなっています。昼間の興奮の余韻を味わいたいという人が、道庁前に少し集まっているようでした。

静と動の対比もメリハリをつけます。

「祭りの後の風景」の静けさ。前後がにぎやかな風景の連続の中に静かな余韻のある場面は印象的になります。

■赤いTシャツにテググキのスカート



Be the Redsの赤いTシャツ。男女を問わず、誰もが来ています。何千万着かが売れたという話を聞いていました。ファッションという域を超えた全国的なムーブメントと言ってよいものでしょう。非常にカジュアルに着こなしている、という印象を受けます。もう一つ興味深いのはテググキです。これもバカ売れしたはず。国旗が衣装替わりになるのも面白い現象です。マントのように背中にまとうだけでなく、女性はスカート替わりに腰に巻きつけています。

撮影はさりげなく！

面白そうなモノは撮っておきたいものですが、人にカメラを向けるときはさりげなくさっと撮ってすませましょう！